



新潟県の経済動向

令和 8 年 3 月 1 0 日

県内経済の概況（令和 7 年 12 月～令和 8 年 2 月）

県内経済は、原材料価格等の上昇による影響などがみられるものの、持ち直している。

- ・ 個人消費・物価は、改善の動きがみられるものの、一部に弱い動きもみられる。
- ・ 住宅投資は、下げ止まりの動きがみられる。
- ・ 公共投資は、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 設備投資は、回復している。
- ・ 生産は、弱まっている。
- ・ 企業は、改善しているものの、一部に弱い動きもみられる。
- ・ 雇用は、おおむね横ばいとなっている。

【 参 考 】

○国内経済の動向（内閣府「月例経済報告」令和 8 年 2 月 25 日）

景気は、米国の通商政策の影響が残るものの、緩やかに回復している。

- ・ 個人消費は、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 設備投資は、緩やかに持ち直している。
- ・ 輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・ 生産は、横ばいとなっている。
- ・ 企業収益は、米国の通商政策の影響が残るものの、改善の動きがみられる。
企業の業況判断は、おおむね横ばいとなっている。
- ・ 雇用情勢は、改善の動きがみられる。
- ・ 消費者物価は、このところ上昇テンポが緩やかになっている。

新潟県総務部統計課
担当：調査解析班 田村・齋藤
電話：025-280-5122
(内線 2448)
ngt010190@pref.niigata.lg.jp

前回からの変化方向

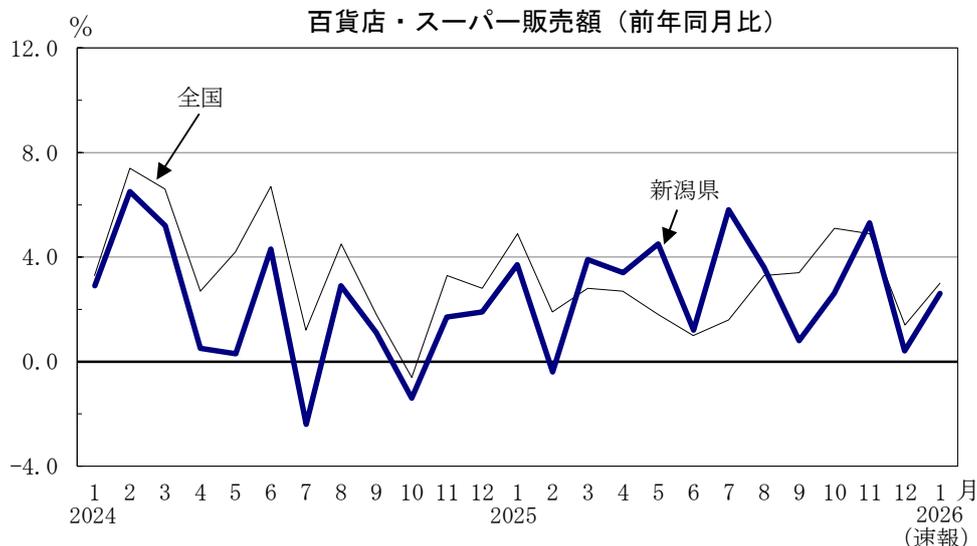
	前回（令和8年2月公表）	方向	今回
全 体	県内経済は、原材料価格等の上昇による影響などがみられるものの、持ち直している。	➡	県内経済は、原材料価格等の上昇による影響などがみられるものの、持ち直している。
個人消費 ・物価	改善の動きがみられるものの、一部に弱い動きもみられる。	➡	改善の動きがみられるものの、一部に弱い動きもみられる。
住宅投資	下げ止まりの動きがみられる。	➡	下げ止まりの動きがみられる。
公共投資	持ち直しの動きがみられる。	➡	持ち直しの動きがみられる。
設備投資	回復している。	➡	回復している。
生産	弱まっている。	➡	弱まっている。
企業	改善しているものの、一部に弱い動きもみられる。	➡	改善しているものの、一部に弱い動きもみられる。
雇用	おおむね横ばいとなっている。	➡	おおむね横ばいとなっている。

1 個人消費・物価 ～改善の動きがみられるものの、一部に弱い動きもみられる～

○ 百貨店・スーパー販売額

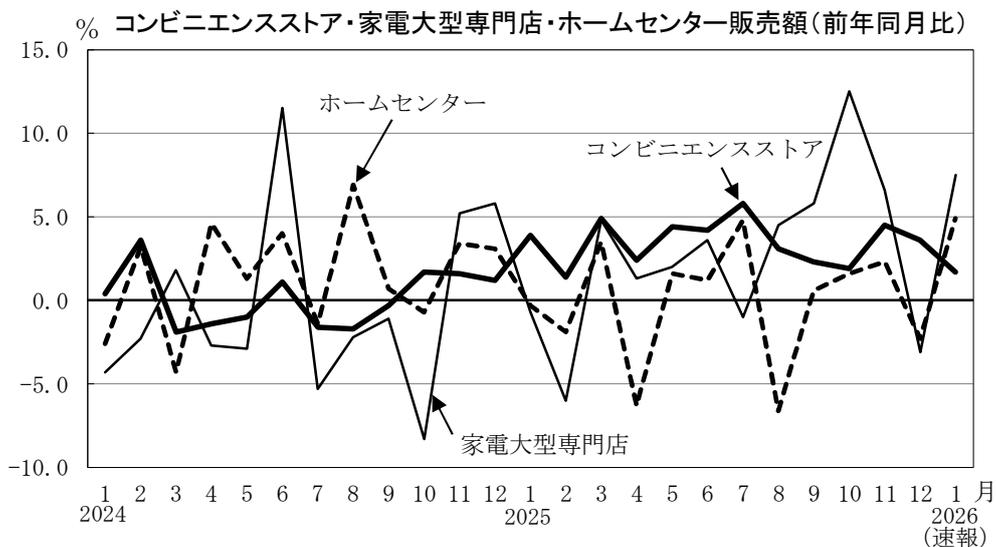
1月の百貨店・スーパー販売額の速報値は、全店で376億円となり、前年同月比2.6%増加し、11か月連続で前年同月を上回った。

なお、12月の速報値は、全店で452億円となり、前年同月比0.4%増加し、前年同月を上回った。



○ コンビニエンスストア・家電大型専門店・ホームセンター販売額

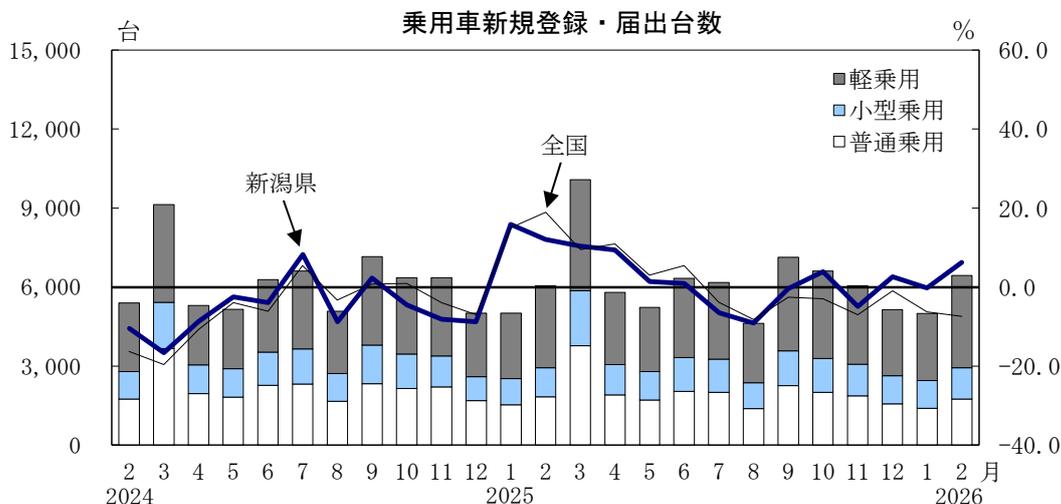
コンビニエンスストア販売額の1月速報値は151億円となり、前年同月比1.7%増加し、1年4か月連続で前年同月を上回った。また、家電大型専門店販売額の1月速報値は60億円となり、同7.5%増加し、2か月ぶりに前年同月を上回った。ホームセンター販売額の1月速報値は65億円となり、同4.9%増加し、2か月ぶりに前年同月を上回った。



○ 乗用車（含む軽）新規登録・届出台数

2月の乗用車新規登録・届出台数は6,445台となり、前年同月比6.3%増加し、2か月ぶりに前年同月を上回った。

車種別では、普通乗用が前年同月比4.5%減少し、小型乗用が同7.2%、軽乗用が同12.3%それぞれ増加した。



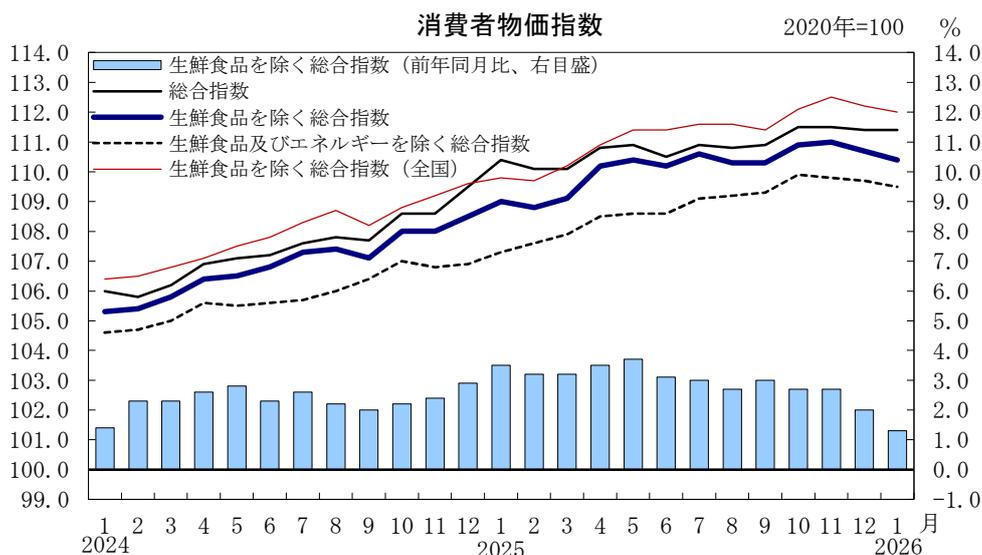
注：棒グラフは新潟県の実数で左目盛、折れ線グラフは前年同月比で右目盛

○ 消費者物価指数

1月の新潟市消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は110.4となり、前年同月比1.3%上昇し、4年3か月連続で前年同月を上回った。

費目別では、菓子類、通信などが前年同月比で上昇し、授業料等、自動車等関係費などが下落した。

なお、総合指数は111.4で前年同月比0.9%上昇し、4年3か月連続で前年同月を上回った。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は109.5で、同2.1%上昇し、3年10か月連続で前年同月を上回った。



注1：折れ線グラフは指数で左目盛、棒グラフは前年同月比で右目盛

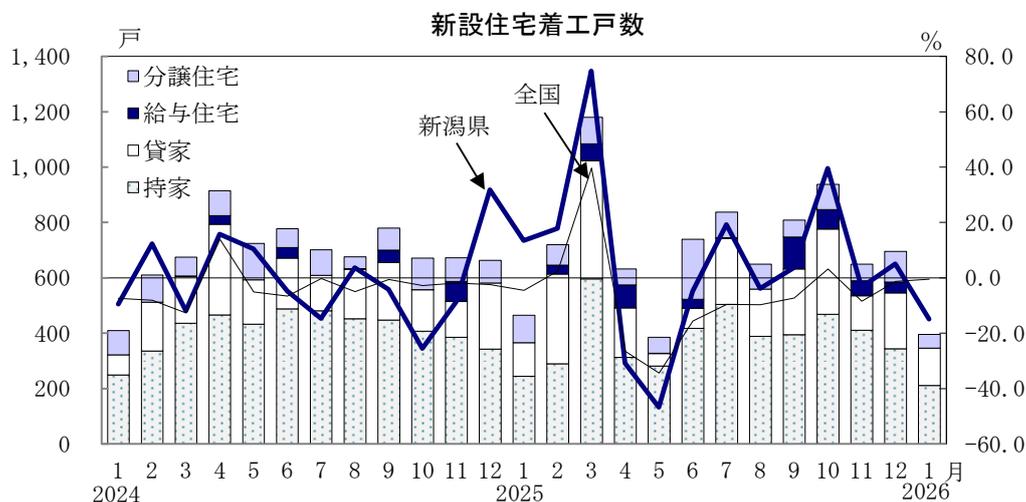
注2：全国の記載がない凡例は新潟県を示している。

2 住宅投資 ～下げ止まりの動きがみられる～

○ 新設住宅着工戸数

1月の新設住宅着工戸数は395戸となり、前年同月比14.9%減少し、2か月ぶりに前年同月を下回った。

利用関係別では、持家が前年同月比13.9%、分譲が同50.5%それぞれ減少し、貸家が同12.5%増加した。



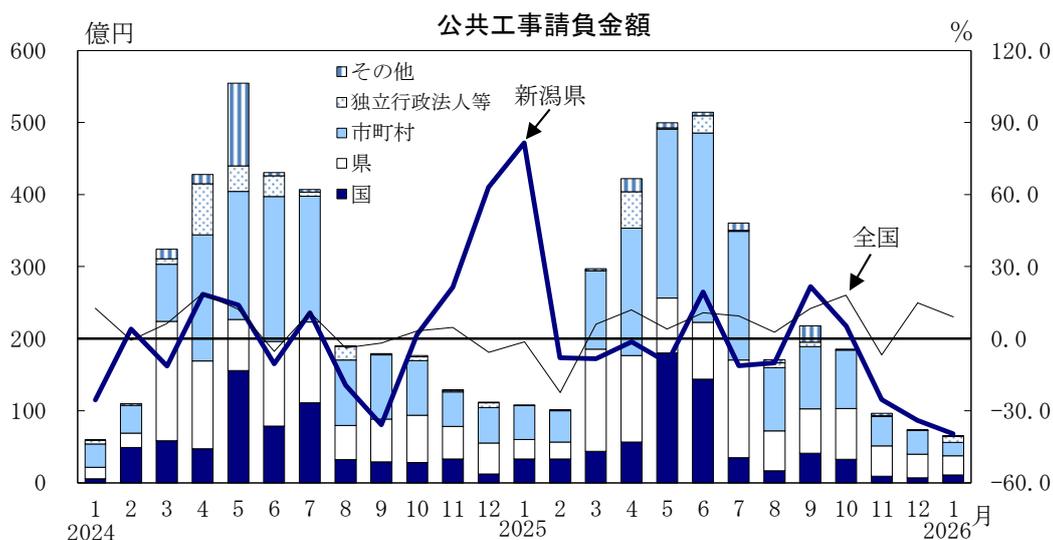
注：棒グラフは新潟県の実数で左目盛、折れ線グラフは前年同月比で右目盛

3 公共投資 ～持ち直しの動きがみられる～

○ 公共工事請負金額

1月の公共工事請負金額は65億円となり、前年同月比39.6%減少し、3か月連続で前年同月を下回った。

発注者別では、国は前年同月比67.3%、市町村は同60.2%それぞれ減少し、県は同0.1%、独立行政法人等は同4169.9%それぞれ増加した。



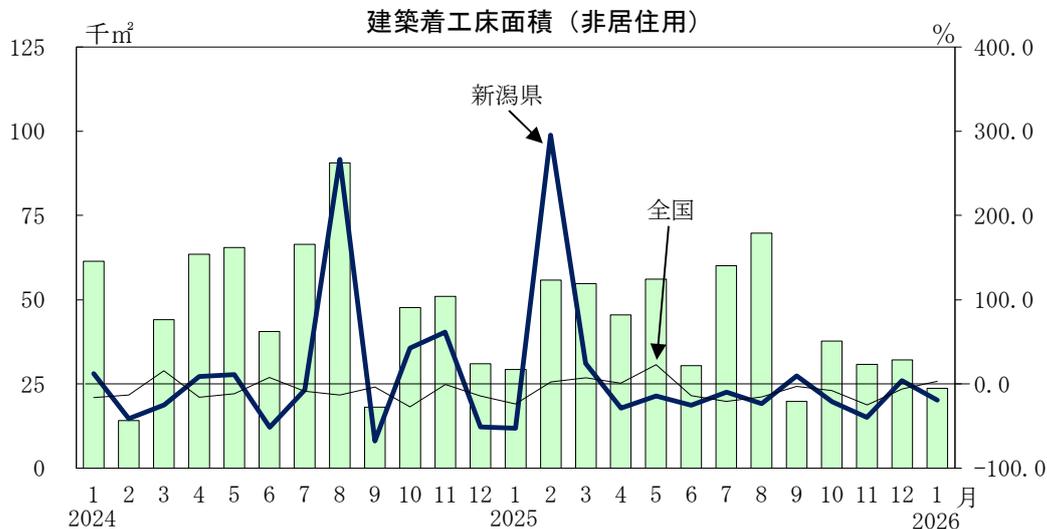
注：棒グラフは新潟県の実数で左目盛、折れ線グラフは前年同月比で右目盛

4 設備投資 ～回復している～

○ 建築着工床面積（非居住用）

1月の建築着工床面積は、23,701㎡となり、前年同月比19.2%減少し、2か月ぶりに前年同月を下回った。

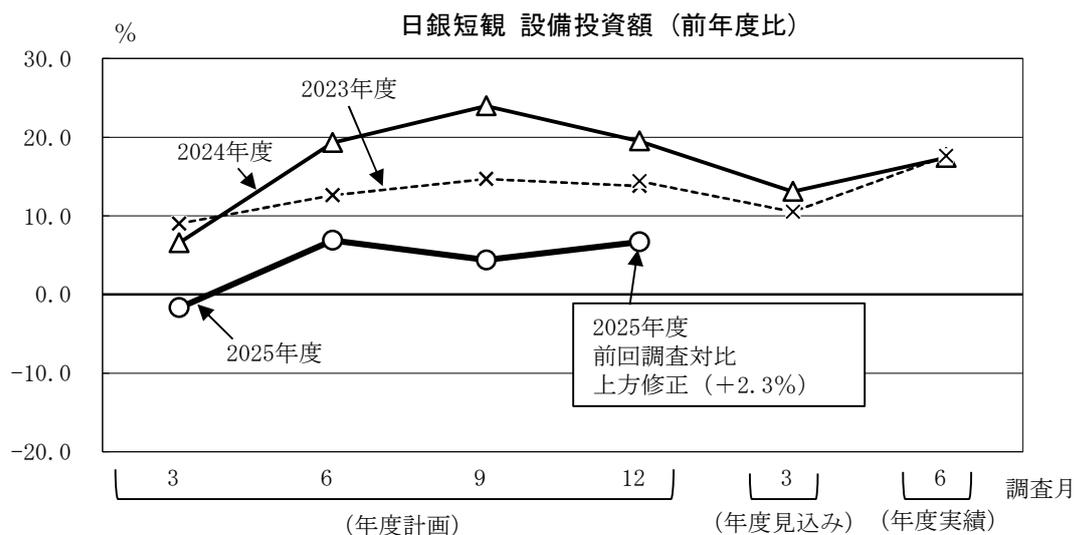
用途別にみると、電気・ガス・熱供給・水道業用、運輸業用、製造業用などが前年同月を下回った。



注：棒グラフは新潟県の実数で左目盛、折れ線グラフは前年同月比で右目盛

○ 企業の設備投資額

2025年度の企業の設備投資額（日銀短観・2025年12月調査）は、全産業で前年度比6.7%増加の計画となっている。非製造業では前年度比10.4%減少と、前年度を下回るものの、製造業では同17.5%増加と、前年度を上回る計画である。前回調査対比では、全産業で上方修正となった。



注：2024年3月調査から対象企業の見直しが行われたことから、新旧ベースのグラフを併記。2023年9月調査までは旧ベース、12月調査以降は新ベースを使用。

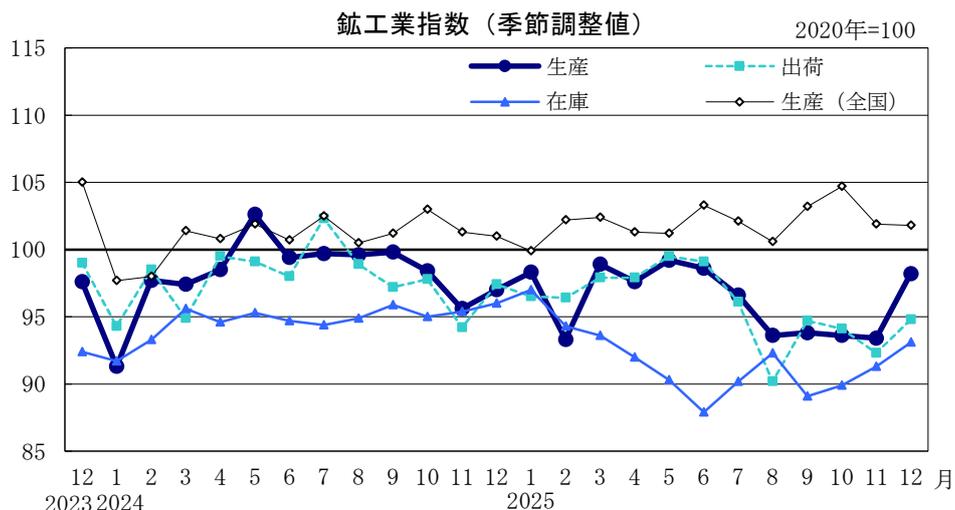
5 生産 ～弱まっている～

○ 鉱工業指数

12月の鉱工業指数（季節調整値）は、生産指数が98.2となり、前月比5.1%上昇し、3か月ぶりに前月を上回った。前年同月比（原指数）では2.8%上昇し、6か月ぶりに前年同月を上回った。

業種別にみると、化学工業が前月比23.2%、汎用・生産用・業務用機械工業が同8.1%、電気・情報通信機械工業が同14.6%それぞれ上昇するなど15業種中9業種が上昇した。

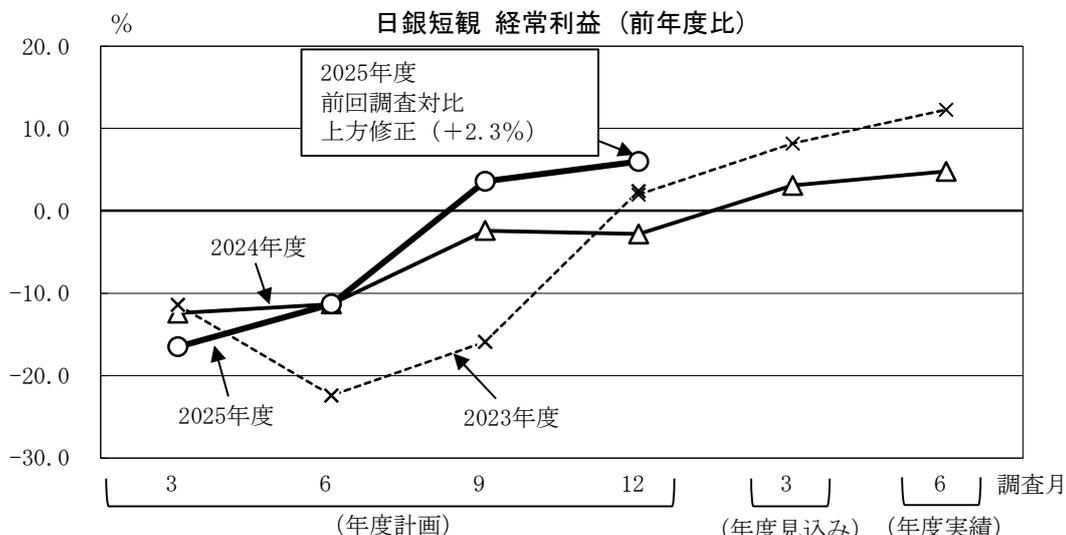
なお、出荷指数は94.8となり3か月ぶりに前月を上回り、在庫指数は93.1となり3か月連続で前月を上回った。



6 企業 ～改善しているものの、一部に弱い動きもみられる～

○ 企業収益

2025年度の企業の経常利益（日銀短観・2025年12月調査）は、全産業で前年度比6.0%増益の計画となっている。製造業では前年度比6.5%増益、非製造業では同5.4%増益と、ともに前年度を上回る計画である。前回調査対比では、全産業で上方修正となった。



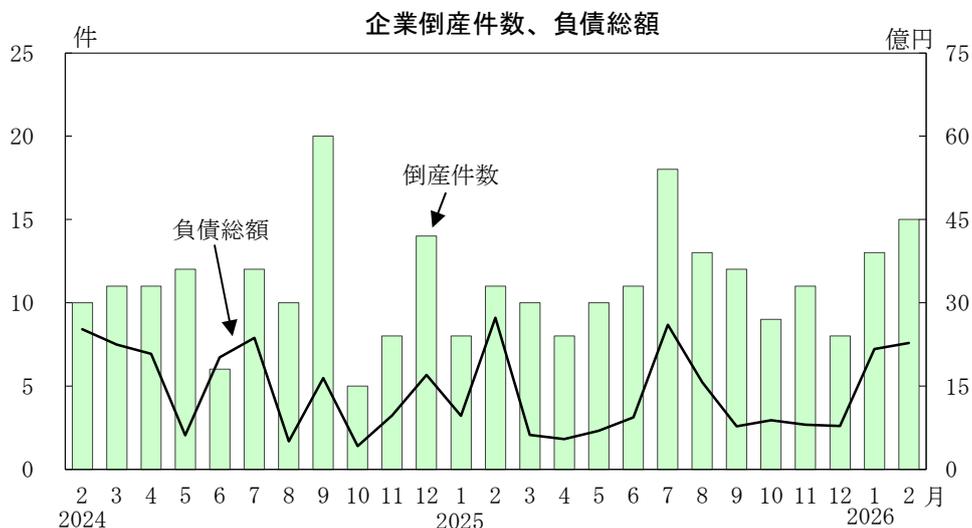
注：2024年3月調査から対象企業の見直しが行われたことから、新旧ベースのグラフを併記。

2023年9月調査までは旧ベース、12月調査以降は新ベースを使用。

○ 企業倒産

2月の倒産件数（負債額1,000万円以上）は、15件となり、前年同月比36.4%増加し、2か月連続で前年同月を上回った。

また、負債総額は、22.7億円となり、前年同月比16.8%減少し、2か月ぶりに前年同月を下回った。負債総額10億円以上の大型倒産はなかった。

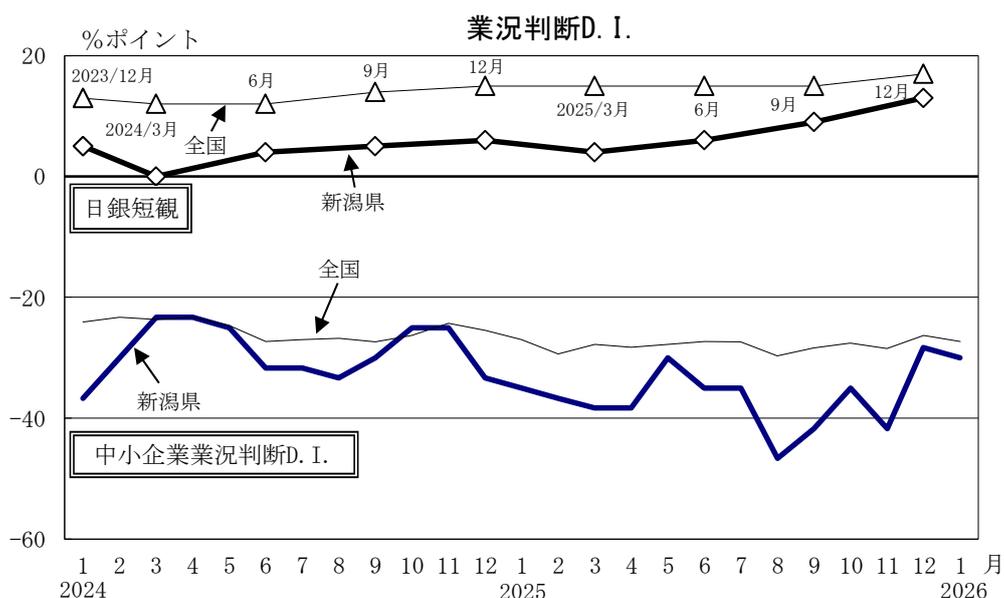


注：棒グラフは倒産件数で左目盛、折れ線グラフは負債総額で右目盛

○ 企業の景況感

企業の景況感については、日銀短観（2025年12月調査）の業況判断D. I. は、13%ポイントとなり、前回調査から4%ポイント改善し、3四半期連続で前回調査から改善した。

また、1月の中小企業業況判断D. I. は、▲30.0%ポイントとなり、前月から1.7%ポイント悪化し、2か月ぶりに前月から悪化した。



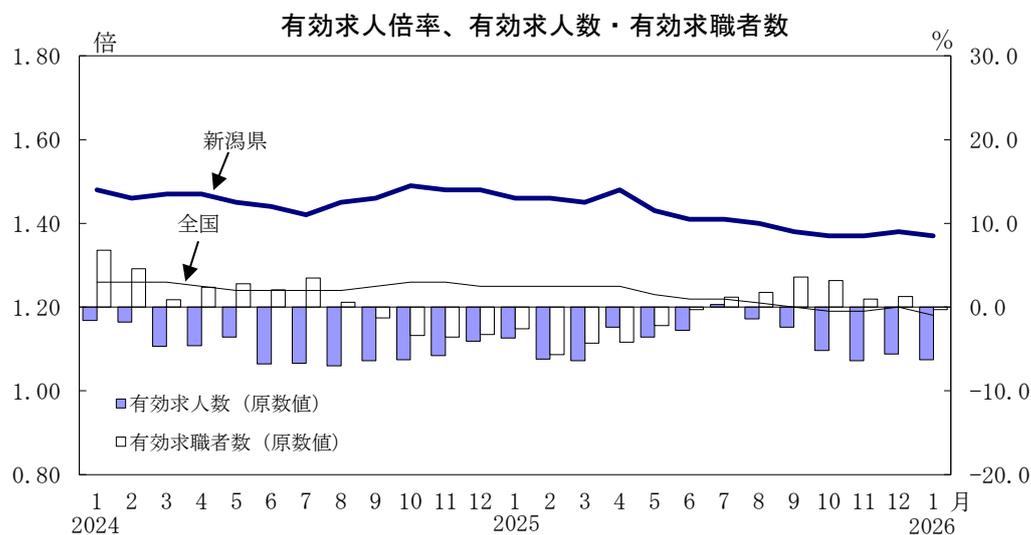
注：2024年3月調査から対象企業の見直しが行われたことから、新旧ベースのグラフを併記。2023年9月調査までは旧ベース、12月調査以降は新ベースを使用。

7 雇 用 ～おおむね横ばいとなっている～

○ 有効求人倍率

1月の有効求人倍率（パート含む全数・季節調整値）は、1.37倍で、前月から0.01ポイント低下し、3か月ぶりに前月から低下した。

有効求人数（パート含む全数・原数値）は、前年同月比6.3%減と6か月連続で前年同月を下回った。また、有効求職者数（同）は、同0.3%減と7か月ぶりに前年同月を下回った。



注：折れ線グラフは有効求人倍率で左目盛、棒グラフは前年同月比で右目盛